

会報

人と地域に寄り添う奉仕で、魅力的なクラブを！



2013.11.17~18第1082回例会 No.24-19 2013.11.27発行

2013-14年度親睦旅行

日程 : 11月17日(日)~18日(月)

行き先 : 静岡県 三保の松原、丸子宿 方面

行程表

1日目

多摩センター 昼食(開花亭桜えび) 日本平 久
能山東照宮 三保ノ松原 羽衣の松 宿

・多摩センター出発後、国道129号を南下、今春開通したばかりの圏央厚木ICから「圏央道」最新設備の厚木(内回り)PAに立ち寄り「東名高速道路」に・・・。

・昼食(由井)後 日本平・久能山東照宮(御社殿:1617年建立、平成22年国宝指定)参詣。

「東照公御遺訓」



人の一生は重荷を負て遠き道をゆくが如し、急ぐべからず。不自由を常と思えば不足なし。心にのぞみおこらば、困窮したる時を思い出すべし、堪忍は無事長久

の基。怒りは敵と思へ。勝つ事ばかり知りて負くる事を知らざれば害其の身に至る。己をせめて人をせむるな。及ばざるは過ぎたるよりまされり。

慶長八年正月十五日

家康(花押)

“人はただ身の程を知れ 草の葉の露も重きは落つるものかな”



【委員会報告】

出席報告

出席奨励委員会

会員総数	35名
出席義務者数	26名
出席義務免除者	9名
出席者数	出席義務者(MU4名含) 14名
出席義務免除者(MU1名含)	6名
計	20名
出席率	20/32 = 62.50%
第1080回例会(11/6)訂正出席率	91.18%

ニコニコBOX

SAA・親睦委員会

- 萩生田政由 親睦旅行にご参加頂き誠に有難うございます。
- 足立潤三郎 萩生田年度久能山親睦旅行を記念して。
- 荒瀧 義機 親睦旅行楽しく行きましょう！
- 大松 誠二 焼津の夜はステキ 月もきれいな海です。
- 伊藤 英也 親睦旅行久能山見学楽しく過ごしました。ありがとうございました。
- 菊池 敏 親睦旅行の移動例会最高の楽しい例会でした！
- 小泉 博 一泊だけのお付き合いですいませんたのしい大宴会でした。
- 峰岸 千尋 焼津市までロータリアンが14名参集致しました。
- 宮本 誠 やっぱ親睦旅行はいいですね。
- 宮村 宏 杉山さんSAA委員長お疲れ様です。
- 村上 久 楽しい旅行で良かったですね！
- 大石 哲司?
- 杉山 真一 取りあえずがんばります 明日も！
- 海野 榮一 三保ノ松原の写真を撮りそこねました。<会報当番>

本日の合計¥23,000 (累計¥501,448)



2日目 三景園 出発前

宿 焼津さかなセンター 東海道宇津谷「お羽織屋」 吐月峰柴屋寺 参詣 昼食、東海道丸子宿(まりこ)「丁子屋」 富士、白糸の滝 多摩センター「お羽織屋 石川家」

「お羽織屋」の屋号は、1590年(天正十八年三月)小田原の北条氏征伐のため東海道を下る“豊臣秀吉”が馬の轡をもとめて立ち寄り、小田原征伐後(八月)の復路に小憩をもとめた折、着用していた「陣羽織」を褒美として与えた故事を由来とする。その後“徳川家康”は“茶碗”を残し、参勤交代で訪れる諸大名も“秀吉”着用の「陣羽織」を拝観し、往時を偲んだという。

「天柱山 吐月峰柴屋寺(てんちゅうざん とげっぽうさいおくじ)」



1504年(室町時代中期永正元年)今川氏に仕えた連歌師“飯尾(柴屋軒)宗長”が閑居した草庵であって、吐月峰の名で知られる名勝。右に天柱山、左に丸子富士を“借景”とした庭園は銀閣寺(足利義政建立)の庭園を模したもので、国指定の名勝・史跡。

「吐月峰」の名は、竹林から昇る“月”が見事であることによる。

「東海道丸子宿(まりこしゅく)」

江戸から46里、20番目の宿場。戦国時代(今川氏)駿府府中に入る西側を固め、宇津谷峠を監視する要衝として“丸子城”が築かれ、江戸時代、“宿”は飛脚も行き交い、伝馬の役割も果たしていた。

「丁子屋」

400年の伝統を今に伝える“とろろ汁”慶長元年(1596年)創業の“丁子屋”は、広重の描いた名物茶店そのままの佇まい。



(かやぶき屋根の現有建物は昭和45年、先々代(12代目)当主が近隣の農家の建物を移築したもの)広重の絵に見られるように、旅人は丸子名産の自然薯を原料にした“とろろ汁”で精をつけてから“宇津谷峠越えに向かった。元禄4年(1691年)“松尾芭蕉”が弟子に贈った餞別の句に、“梅若菜 丸子の宿の とろろ汁”と詠み、“十返舎一九”も1802年頃刊行の「東海道中膝栗毛」に「とろろ汁」を登場させている。“安藤広重”(江戸四大浮世絵師の一人)が、1834年に「東海道五十三次」を完成。広重はその際、100年ほど前の“芭蕉”の句や、およそ30年前の“東海道中膝栗毛(十返舎一九)”の話(弥次・喜多道中記)を盛り込んだ「丁子屋」を描いている。



「白糸の滝」



鎌倉時代～室町時代には源頼朝、足利尊氏らが“京”を目指し、400余年前“秀吉”が、北条征伐で万余の軍勢を率いた幅員20尺ほどの“東海道 宇津谷”。時代を拓いた英傑をはじめ“宗長”“芭蕉”“十返舎一九”“広重”……。今なお息づく“歴史”を辿る駿河路の親睦旅行でした。

*久能山東照宮、お羽織屋、吐月峰柴屋寺、東海道丸子宿および丁子屋の説明文は、それぞれ発行の案内パンフレットなどを参考・引用して作成しました。